

『経済統計研究』 第 50 巻第 4 号
7 時点非競争輸入型接続産業連関表を用いた日本経済の構造変化の検証
補足資料:カラーグラフ

宇多 賢治郎¹

『経済統計研究』第 50 巻第 4 号に掲載された論文「7 時点非競争輸入型接続産業連関表を用いた日本経済の構造変化の検証」に掲載されているグラフの一部は、カラーで表現することを前提に作成されたものである。しかし、掲載誌の規定に合わせ、濃淡（白黒）で表現したものを作成し直し、掲載した。また、一部のグラフは分析対象である 1995 年、2011 年、2015 年のみを掲載した。そこで、掲載していない残り 4 時点のグラフを併せ、本来のカラー版を、本資料に掲載した。

図 2 「国内残存率」の表と色グラフ化の例

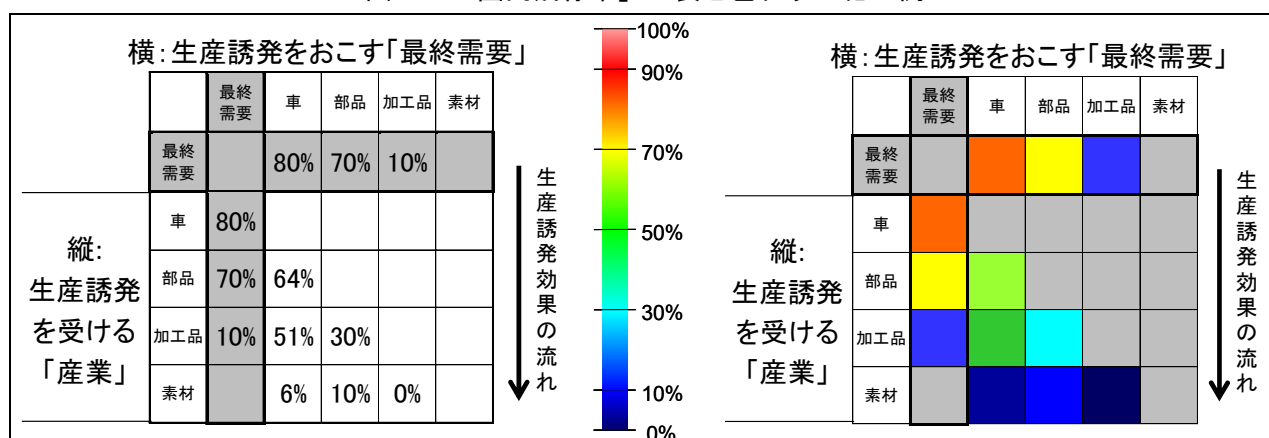
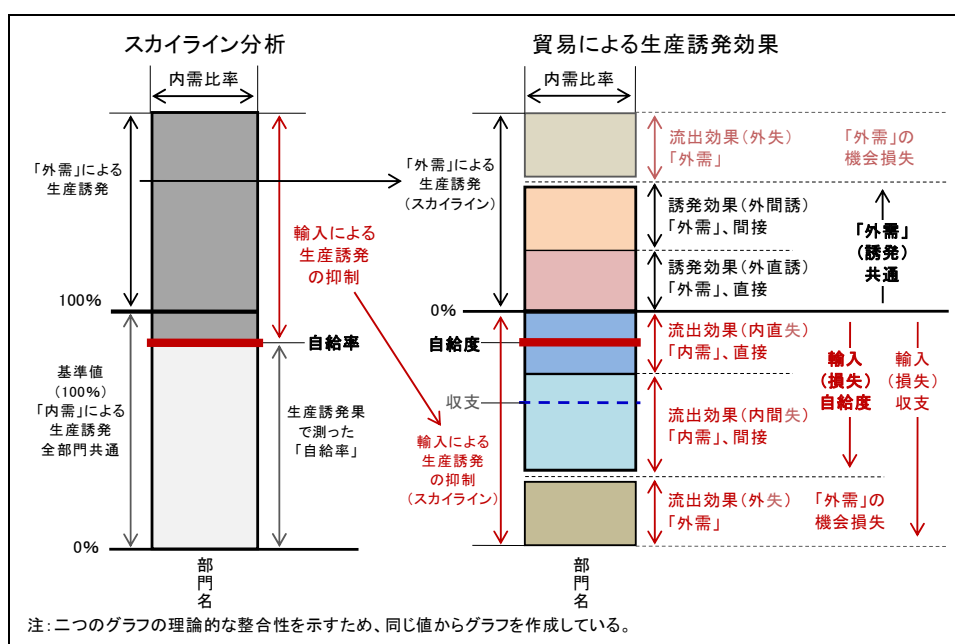
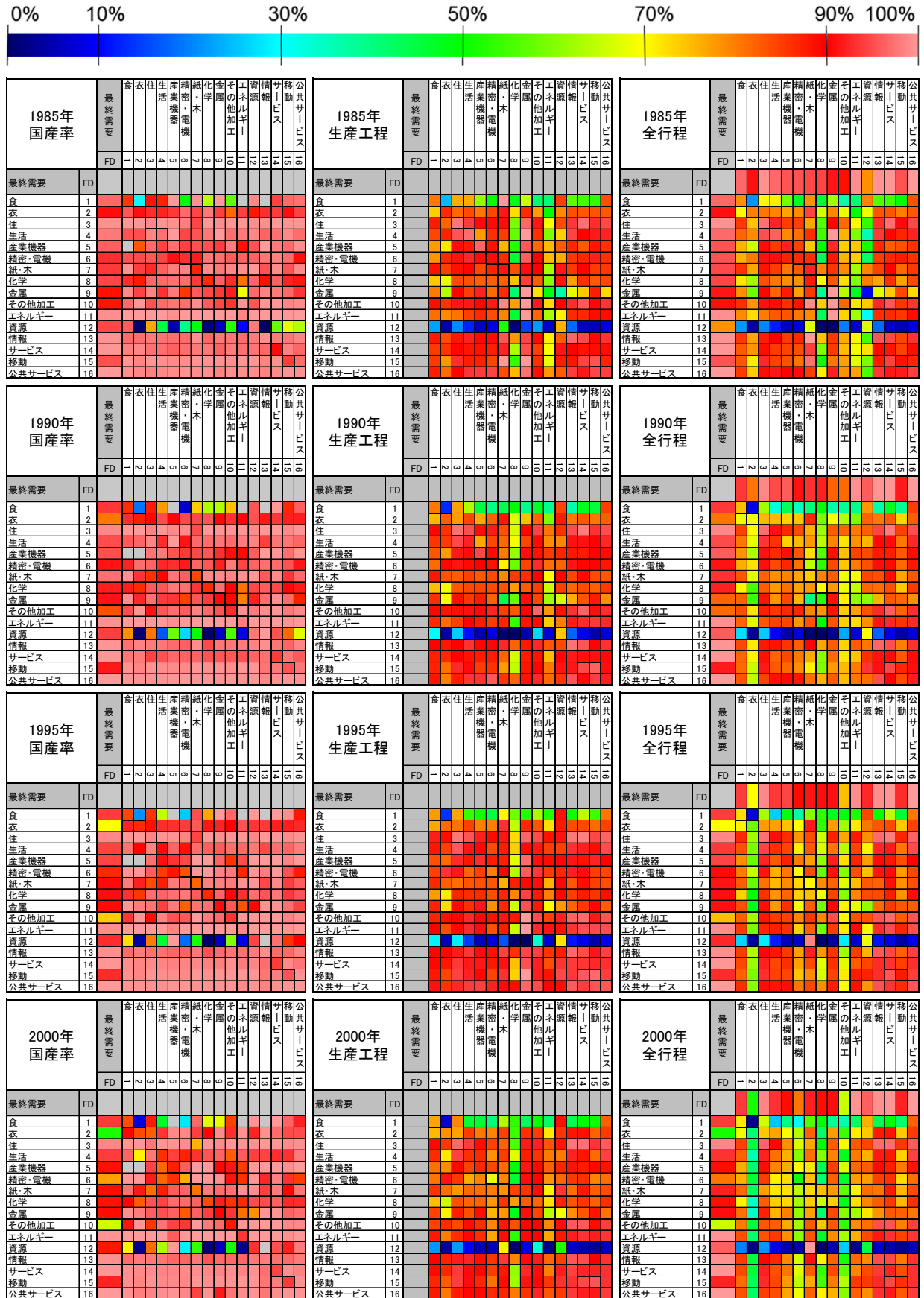


図 3 スカイラインチャートと「貿易による生産誘発効果」の表現の違い



¹ 山梨大学（教育学研究科准教授）、ken_uda@hotmail.com、研究紹介 <https://www.ccn.yamanashi.ac.jp/~kuda/>

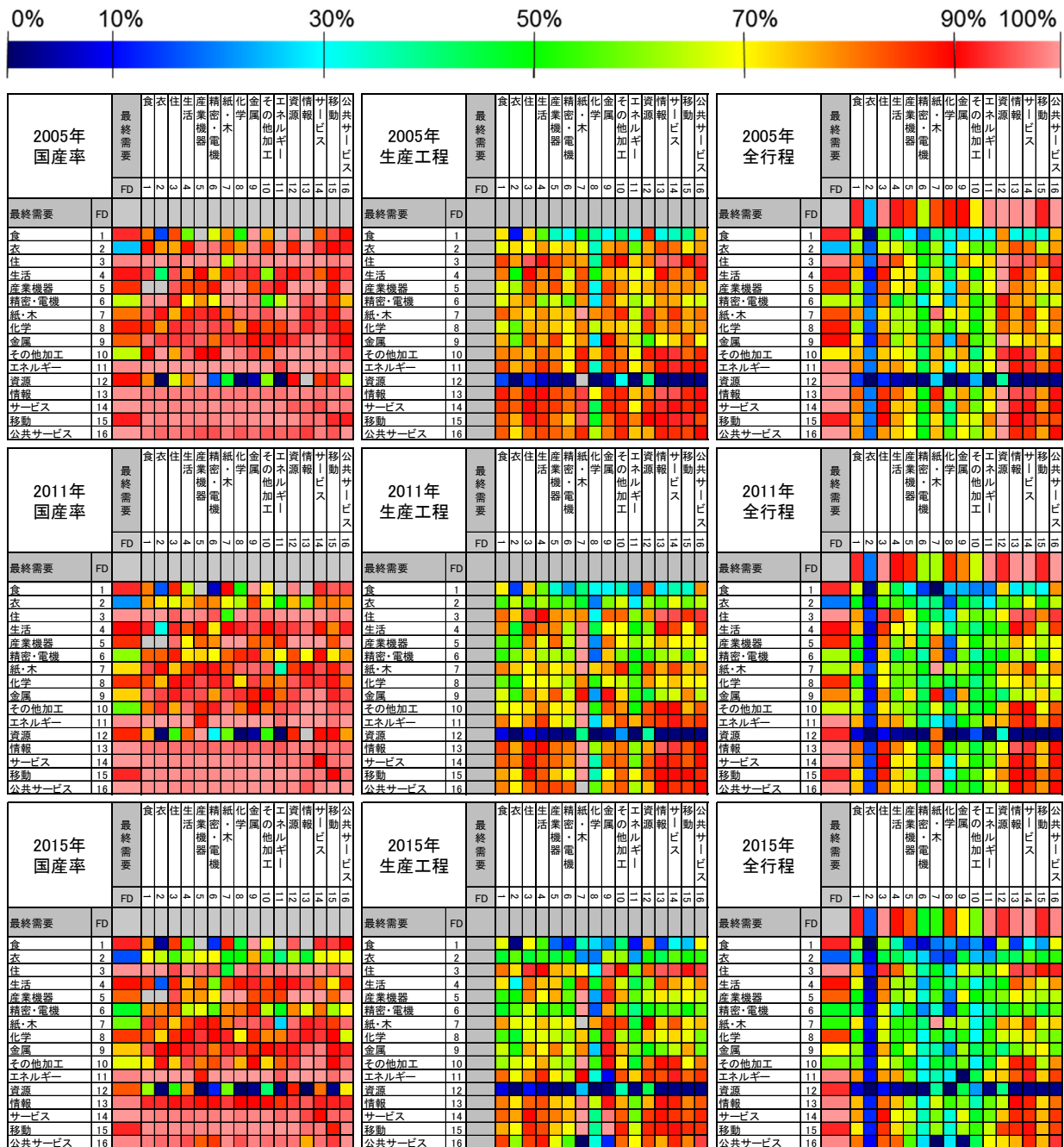
図 9-1 国産率、国内残存率の変化(最終需要別 16 部門、1985～2000 年)



注 1 : 「国産率」のグラフは、各需要における国産率を示したものであるため、データが存在しない一行目の最終需要の欄は灰色になる。

注 2 : 「生産工程」のグラフでは、最終需要における輸入を扱わないため、最終需要の欄は灰色になる。

図 9-2 国産率、国内残存率の変化(最終需要別 16 部門、2005～2015 年)



注 1 : 「国産率」のグラフは、各需要における国産率を示したものであるため、データが存在しない一行目の最終需要の欄は灰色になる。

注 2 : 「生産工程」のグラフでは、最終需要における輸入を扱わないため、最終需要の欄は灰色になる。

図 10-1 生産誘発効果の変化(大分類 37 部門、1985 年)

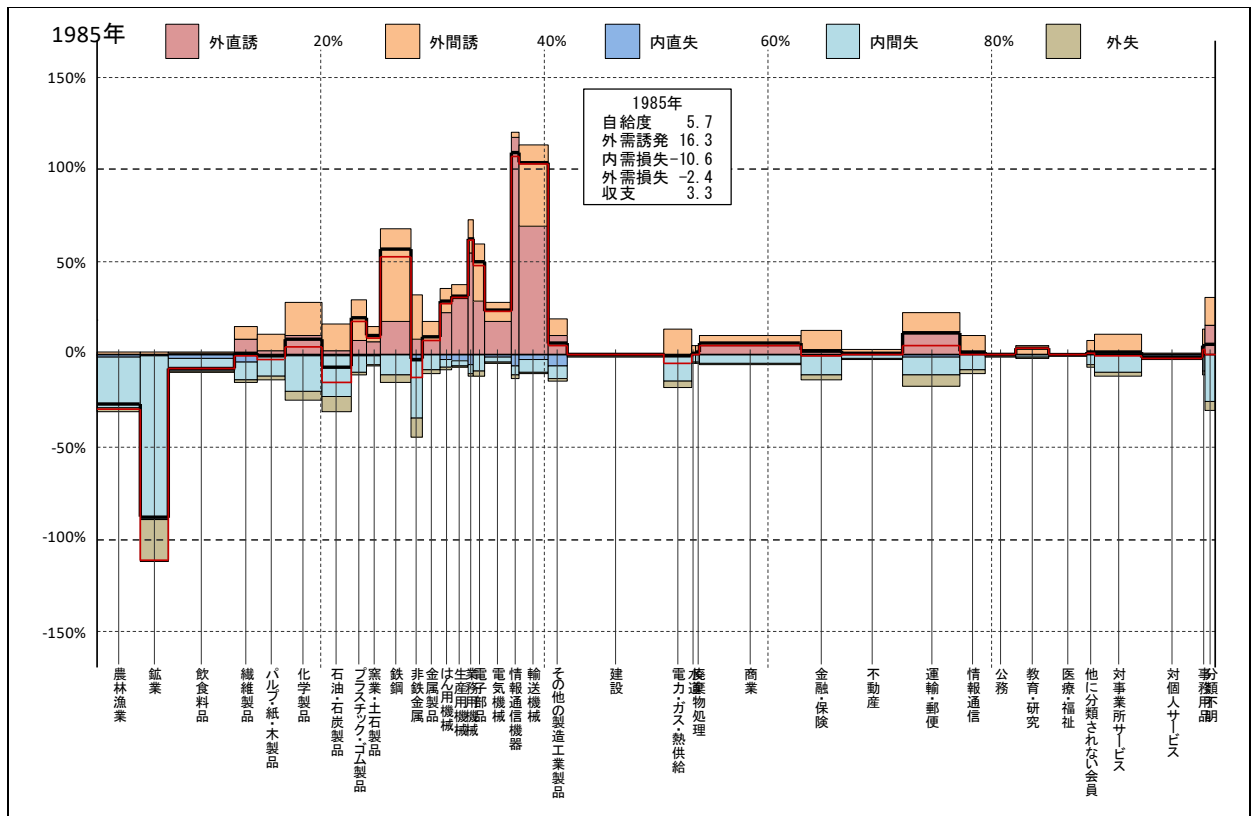


図 10-2 生産誘発効果の変化(大分類 37 部門、1990 年)

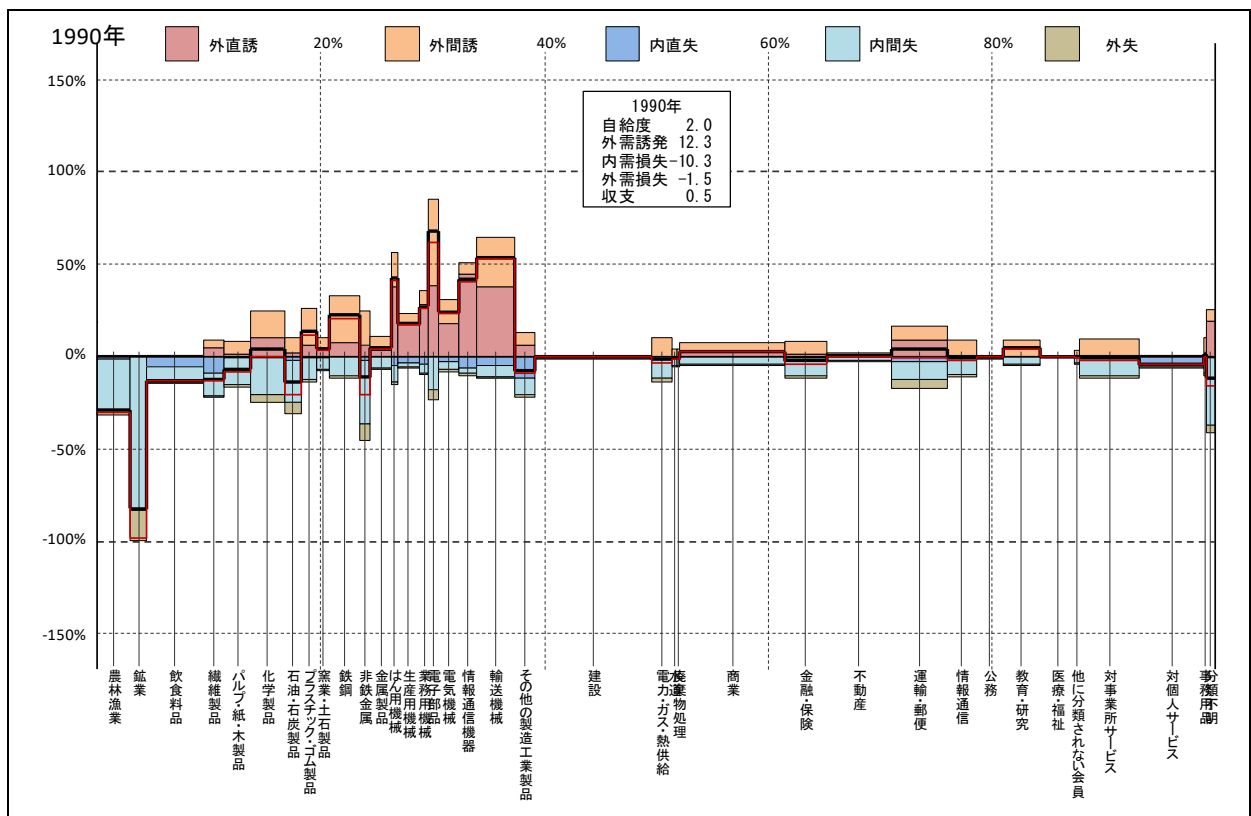


図 10-3 生産誘発効果の変化(大分類 37 部門、1995 年)

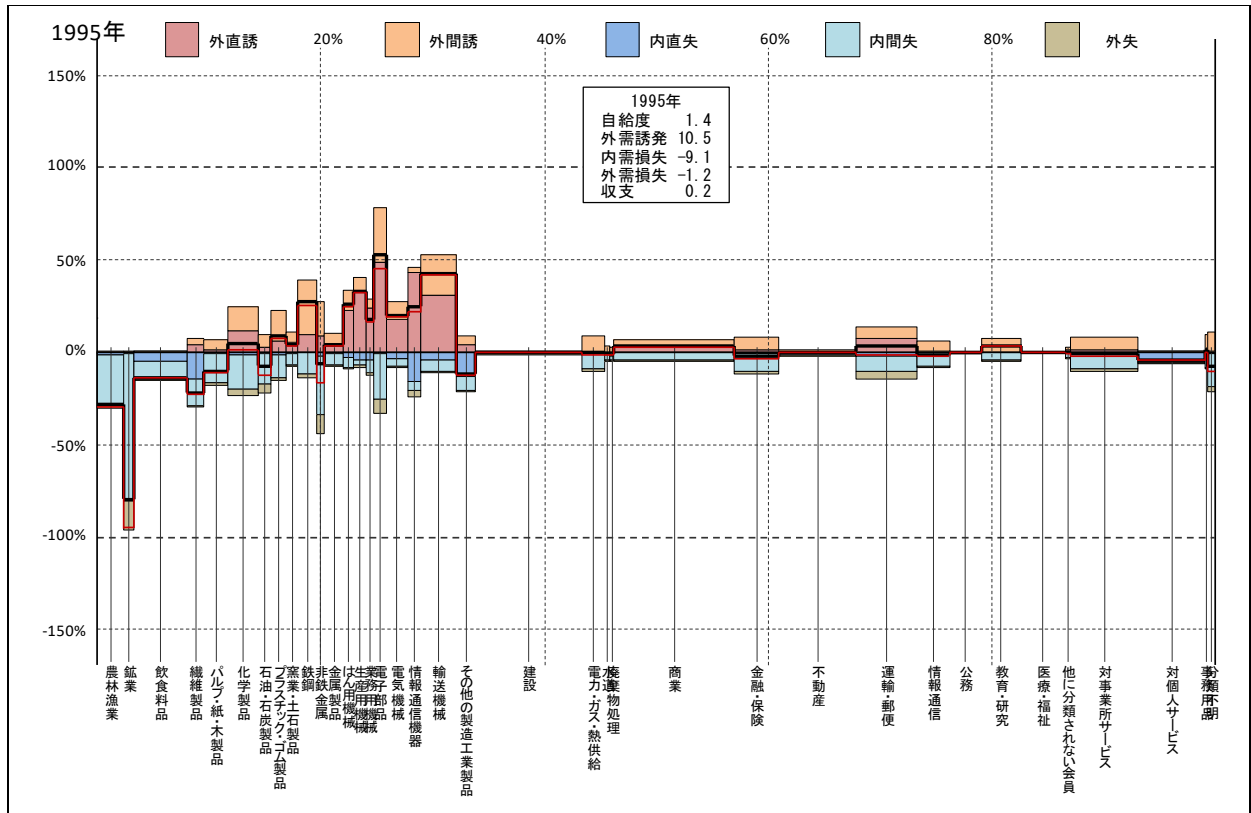


図 10-4 生産誘発効果の変化(大分類 37 部門、2000 年)

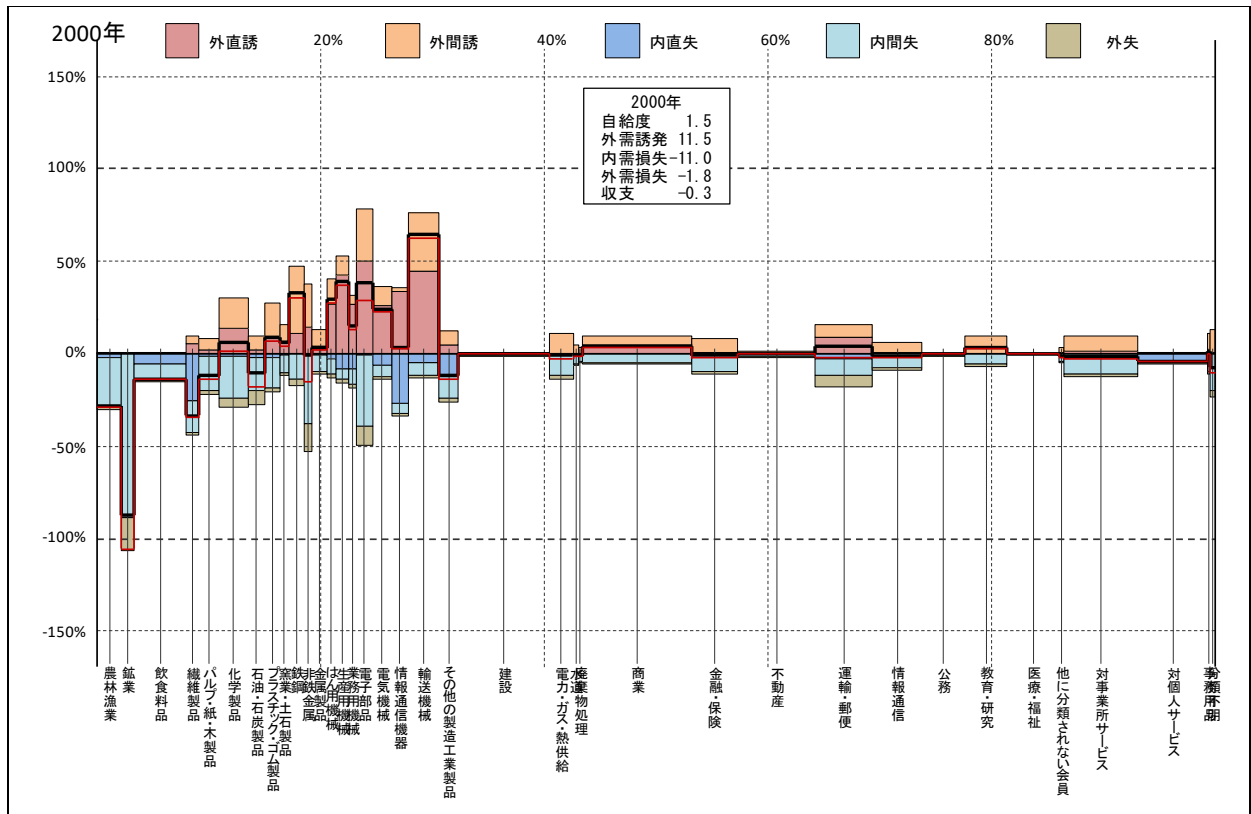


図 10-5 生産誘発効果の変化(大分類 37 部門、2005 年)

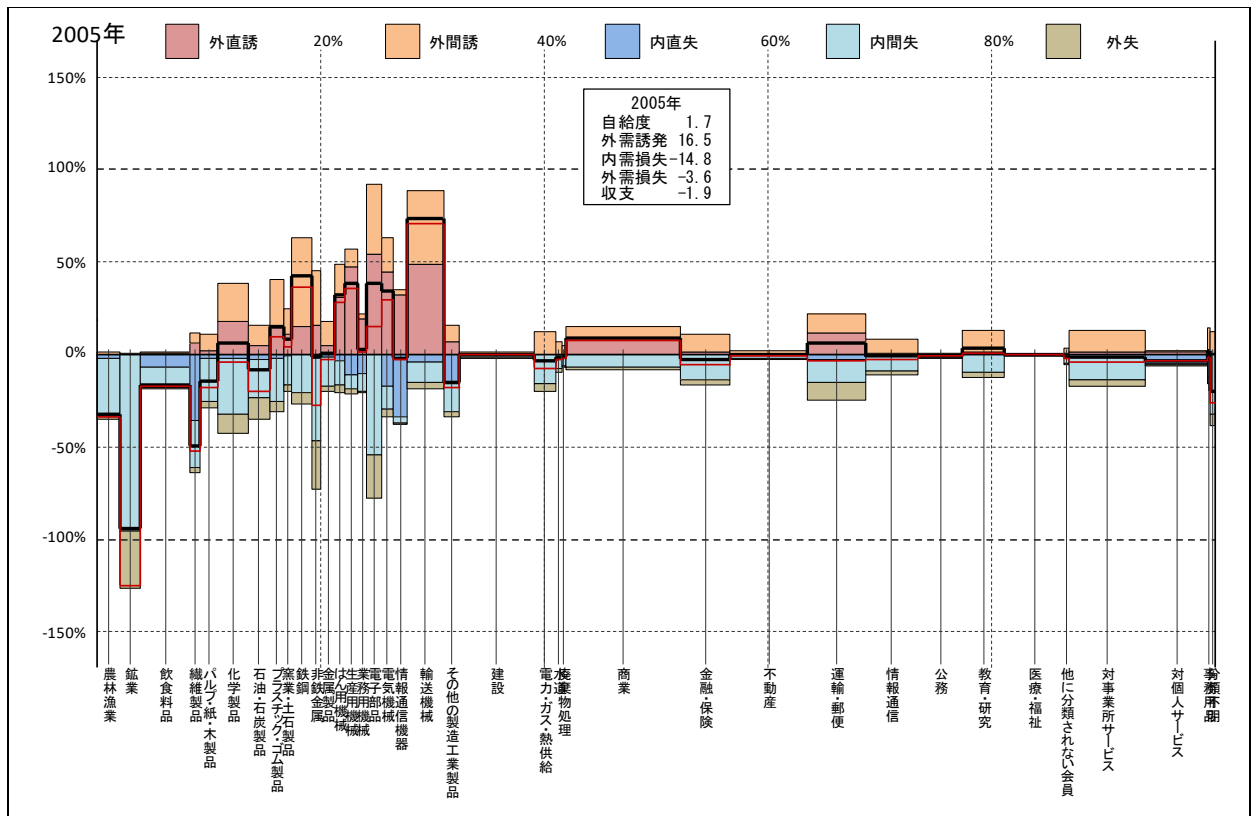


図 10-6 生産誘発効果の変化(大分類 37 部門、2011 年)

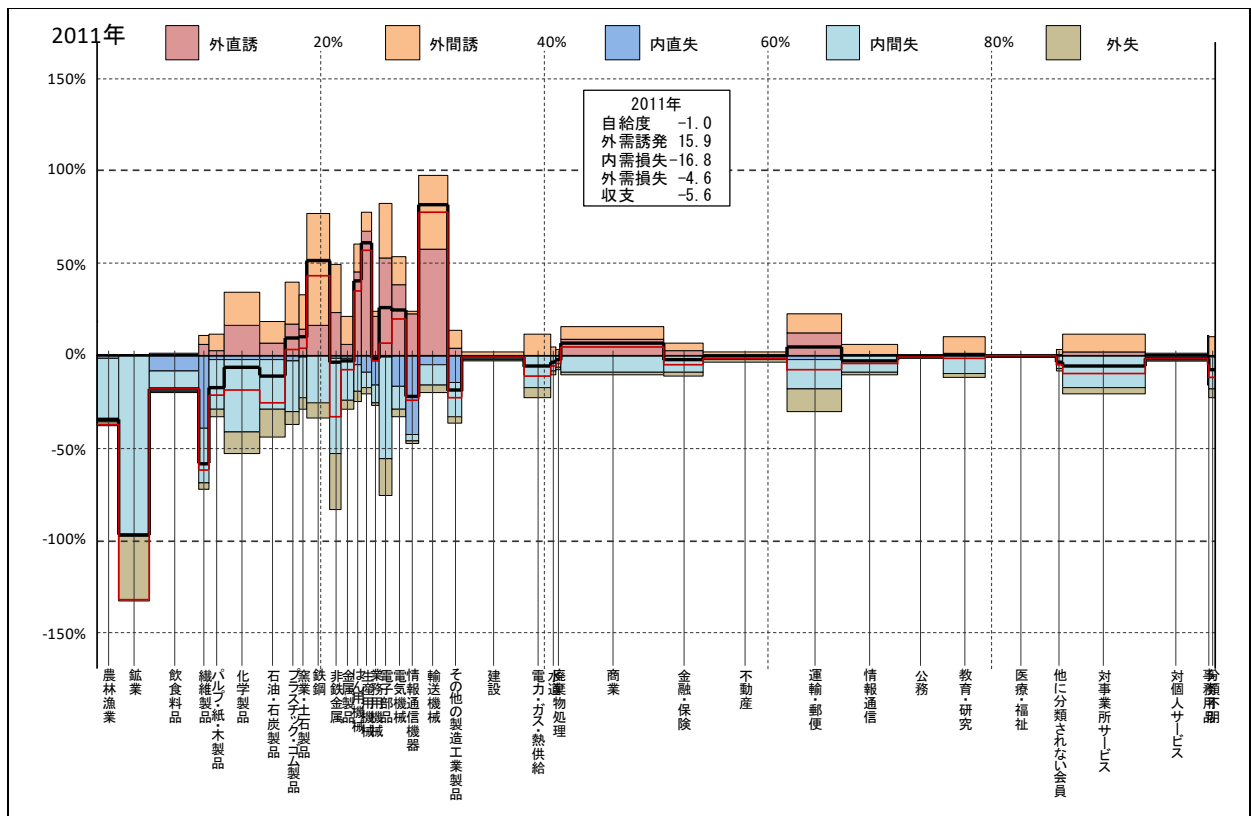


図 10-7 生産誘発効果の変化(大分類 37 部門、2015 年)

